

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
FMD News Vol.106をお届けいたします。

YouTube



FMD OWNER'S CLUB



## 8月のTOPICS

### ■ 熱中症と長期心血管疾患について

8月に入り、ひととき厳しい日差しが照り付けておりますが、皆様変わらずお健やかに過ごしてでしょうか。夏ならではのイベントなどが行われる中、熱中症などのワードをニュースで耳にします。今回のFMDnewsでは熱中症と心血管疾患に関連した論文をご紹介します。そして、9月の21, 22日に日本妊娠高血圧学会、27, 28日には日本心臓病学会が開催されます。たくさんのご参加お待ちしております。

熱中症患者は、多臓器不全を呈する場合がありますが、急速な冷却と臓器不全の管理により、多くの場合数週間以内に完全に回復します。長期的な障害は稀ですが、神経学的障害が最も頻繁に発生します。熱中症が完全に回復した後も長い間心血管疾患を引き起こすのではないかと考え、Pubmed, Web of Science, Scopus を使用して、結果としての心血管疾患の発生率、または死亡率を調べたコホート研究を収集しました。

右の表は、文献検索による熱中症患者の特徴です。

熱中症の既往歴がある患者では、初期回復後に発症するCVDのリスクが増加していることがわかりました。全ての心血管疾患のリスクは、Wallaceでは非熱中症患者と比較して1.8倍高く、Wangでは3.9倍高いことがわかります。

Study	Study Type	Sample size	Matched controls	Mean Follow-up duration (Years ± SD)	Number of Events (%)					
					All Cardiovascular Diseases		Ischemic Heart Disease		Heart Failure	
					HS	C	HS	C	HS	C
Wallace et al.	Retrospective cohort	3,971	17,233	14.4 ± 7.2	25 (23)	128 (22)	8 (7)	35 (6)	N/A	N/A
Tseng et al.	Retrospective cohort	628	1256	11.89 ± 13.32	N/A	N/A	194 (31)	186 (15)	N/A	N/A
Wang et al.	Retrospective cohort	150	150	14*	49 (33)	25 (17)	15 (10)	10 (7)	5 (3)	3 (2)

HS: heatstroke C: control SD: standard deviation N/A: not applicable  
\*: total follow up duration (mean follow up available)

Cureus. 2020 Aug 6;12(8):e9595.

#### ☆熱による血管内皮細胞の変化—熱中症との関連 (東洋大学からのご報告)

熱中症の詳しいメカニズムは、未だ解明されていませんが、他の研究において、血管と熱の関係について調べたところ、熱の影響によって血管内皮細胞が変形していることがわかりました。本来密着しているはずの内皮細胞の変形により隙間が生じ、体液の循環に影響を及ぼし、脱水状態に陥るのではないかと示唆されています。このような研究結果を踏まえると、熱中症と血管内皮機能は関連しているのではないかと考えられそうです。

<https://www.toyo.ac.jp/sdgs/newsletter/00031.html>

### ■ 学会展示会のお知らせ

**展示会** 第44回日本妊娠高血圧学会

会期：2024年9月21日(土)・22日(日)  
会場：ライトキューブ宇都宮  
3階中ホール前ホワイエ

**展示会** 第72回日本心臓病学会学会

会期：2024年9月27日(金)～29日(日)  
会場：仙台国際センター  
展示会場